

平成 19 年度若手後継者育成事業

広域連携事業

～ バリアフリーを考えたまちづくり ～

報 告 書

主催：村山地区商工会女性部連絡協議会

幹事：河北町商工会女性部

目次

1. 研修会	P 1
2. 今後の取り組みについての提言	P13
3. 資料編	
目標展開図	P16
重み付け集計表	P17
参加者意見感想	P21
関連新聞記事	P25

平成19年度

村山地区商工会女性部連絡協議会研修会

バリアフリーを考えたまちづくり パート3

日 時 平成19年11月7日(水)
午前10時30分～
場 所 河北町地域交流センター どんがホール

次 第

1. 開会の挨拶
2. 主催者挨拶
3. 幹事女性部長挨拶
4. 来賓挨拶
5. 講演会
6. グループ討議
7. 閉会の挨拶

主 催：村山地区商工会女性部連絡協議会

幹 事：河北町商工会女性部

研修会日程表

私たちは、「バリアフリーを考えたまちづくり」をテーマに研修・体験を重ね、ハード・ソフト両面のバリアフリーについて意識を高めて参りました。今回の研修では、すべてのひとにやさしいまちづくりをみんなで話し合い、私たちが女性部の立場からできることを提言する目的で開催されました。

時 間	内 容	講 師 等(敬称略)
10:00～10:30	受 付	
10:30～10:45	開会の挨拶 主催者挨拶 幹事女性部長挨拶 来賓挨拶	村山地区商工会女性部連絡協議会 会 長 松 本 矩 子 河北町商工会女性部 部 長 槇 幸 子 河北町商工会 会 長 和 田 多 聞
10:45～12:00	【講演会】 「みやま荘の取り組み ～ みんな一緒 ～」	講 師 救護施設 みやま荘 荘 長 大 築 満 夫 氏
12:15～13:15	昼食会場に移動	紀の代寿司本店
13:30～14:00	【グループ討議】へのガイダンス ・目標展開手法について ・井戸端会議(BS)の要領	
14:00～14:45	【グループ討議】テーマ “私たちが「やりたいこと」「やれること」そして「期待されていること」 <1ラウンド> ・テーマについての話し合い(30分) とラベル書き(10分)	コーディネーター 有限会社 SK ソリューションズ 代表取締役 黒 沼 貞 志 氏
14:45～15:00	休 憩	
15:00～15:45	<2ラウンド> ・テーマについての話し合い(20分)、 ラベル書き(10分)と分類(10分)	
15:45～16:15	発表(各グループから代表者1名)と 講評	
16:15	閉会の挨拶	村山地区商工会女性部連絡協議会 副会長 槇 幸 子

講演会

みやま荘の取り組み ～みんな一緒～

救護施設 みやま荘

荘長 大築 満夫 氏

「バリアフリーを考えたまちづくり」という大きなテーマのまとめの年に当たり、研修内容を検討した結果、河北町に40年ほど前からある「救護施設みやま荘」大築荘長さんによる、地域との関わり方・施設から地域に望むことについてお話の中から、私たちの活動に繋がるヒントを得たいという目的で講演会を開催しました。

<講演内容抜粋>

1 はじめに

『福祉』とはしあわせという意味

- ・ネ偏・示偏共に神様関連の言葉で、神様への捧げ物をのせる三方をあらわした
盃は、酒樽を、止は神様の足跡をあらわす
- ・神様からのおすそわけのお神酒を飲んで良い気分になるということが、つまり神様の足跡である
- ・英語では Welfare (fare は食事という意味) 現在は Well-being を用いる (being は生きる)

2 救護施設とは

例えば、運動会で転んだときに手当てをしてくれる救護所のようなところ

日本国憲法 25 条 健康で文化的な生活をおくる権利を有する

生活保護法

全国 184 施設(地域生活移行を目的) 約 16,000 名 が利用

山形県には 3 施設 ・紅花ホーム/天童市 ・泉荘/長井市 ・みやま荘/河北町

みやま荘→昭和 45 年開設

精神障がい者の社会復帰 (現在は地域生活移行)

延 730 人が利用、その内 270 人が社会復帰又は家庭復帰

温泉場の住み込み → 普通に働きたい(会社勤め) → グループホーム

平成 18 年 10 月 障がい者自立支援法施行 (町中に家を借りて共同生活の場)

ワークステーションの紹介 だんだん (リサイクルせっけんきらら)

パン工房のどか (原材料にこだわったパン)

地域との交流→北谷地小学校との交流「みんな一緒」

子供たちの教育の一環

- ・子供の頃から障がい者を理解することが大切

差別感の子供の頃から生まれる「悪いことすると〇〇〇に入れるぞ」

- ・かたちより『気持ち』のバリアを取り除く

現在は、北谷地小学校と 1 年を通しての交流を続けている

37 年過ぎてやっと「そこにあってあたりまえ」になってきた

↓

(施設開設から 4 世代を経て)

地域

- ・商工関係の方は、障がい者にとって物を 売る・買う 関係として、普通に対応してくれる身近な存在

地域懇談会 盆踊り 年末の集い 健康運動教室 昔の料理

3 障がい(者)について

どこかに問題を抱え生活がしづらい→生活支援(ちょっとした助け)

心の病気→自分はならないと思っている

うつ病 統合失調症 アルコール依存症 薬物依存 人格障がい

小児自閉症 じっとしておらず、気持ちが通じない

虐待で殺される子供は半数を占めるのではないか

燃え尽き症候群 ある日突然 燃えカスのようにになってしまう

キッチンドリンクー 隠れて台所で料理酒等を飲む→アルコール依存症

空の巣症候群 子供が家を出た後 一人っ子のお母さんに多い

青い鳥症候群 他にもっと素敵な男性がいるかもと、追いかけて続ける

ピーターパン症候群 職にもつかず、引きこもりもなく、遊んで暮らす

産褥期うつ病 出産後なんとなくむなしく涙が止まらない 一過性のものであるが長くなる方もいる

初老期うつ病 学校の先生 警察官に多い 毎日同じことを繰り返していた人がかかりやすい

分裂病 破瓜型 16歳から始まる 高校生ひきこもり等疑ったほうがいい

・いかに頭の病気は早期発見治療が難しいか

・ストレスが溜まって自分で処理できなくなると

頭が痛い 便秘になる 肩がこるなど身体に現れる 一心身症

・私たちは、心の病気に結果的にならなかっただけ

落とし穴はいくらでもあったが幸運にもすりぬけてこられた



4 障がい者をどのように見て来たか … 神様と紙一重として障がい者をとらえていた 商売に大いに関係有

エビス様 恵比寿さん(蛭子とも書く)もとはぐにやぐにやとしているという意味

いざなみといざなみの最初の子供 3年たっても足腰たたない(障がい者)ため流される

→ 拾って神様に祭ったところが今宮恵比寿神社

・福神・商売繁盛の神である恵比寿に因み、商業者や団体による祭りが各地で催されている

オナカマ 自分の先祖を呼んできて占いをしたりする

中山のお仲間さん(眼の見えない方)健常者が頼ってすぎる対象となる

・畏敬の念と同居している

・障がいのある方がカウンセリングを行っていた

仙台四郎 商売繁盛の神様 実在の人物 重度の知的障がい者 物乞いをして恵んでくれた店は繁盛

し、追い返された店はずぶれた

遠野物語の96番の話 障がい者の男が火事を予兆する能力があった



5 おわりに

笑うこと … 免疫力をUP

・私たちはせめて笑うことを大切にする 笑いはNK細胞を増やす

・笑いをこころがけている施設が増えている

・風呂に入った時や寝る前に、一日を振り返り楽しい事を思い出し

笑ってみる

・笑いは“ただ” 笑いで心身を健やかに

グループ討議 「バリアフリーを考えたまちづくり」 すべてのひとにやさしいまちづくり

私たちが やりたいこと やれること 期待されていること

有限会社 SK ソリューションズ

代表取締役 黒沼貞志氏

■ グループ討議へのガイダンス

- ・ コーディネーター紹介
- ・ 望ましいバリアフリー社会とは
- ・ 望ましい地域の諸施策・活動の方向性
- ・ 広域連携事業第3ステージの位置付け
- ・ グループ討議へのガイダンス井戸端会議の要領
 テーマ 時間配分 ラベルの書き方 各役割について
- ・ 研修会後の河北町商工会女性部役員による報告書作成に向けたワークショップについて説明



講師資料より抜粋

望ましいバリアフリー社会とは

望ましい地域の諸施策・活動の方向性

課題と共生<地域・社会・施設・家庭>

<<施設・設備様式(ハード)>> <<運用・生活様式(ソフト)>>

広域連携事業第3ステージの位置づけ

グループ討議 「バリアフリーを考えたまちづくり」 すべてのひとにやさしいまちづくり

私たちが やりたいこと やれること 期待されていること

有限会社 SK ソリューションズ

代表取締役 黒沼貞志氏

■ グループ討議へのガイダンス

- ・ コーディネーター紹介
- ・ 望ましいバリアフリー社会とは
- ・ 望ましい地域の諸施策・活動の方向性
- ・ 広域連携事業第3ステージの位置付け
- ・ グループ討議へのガイダンス井戸端会議の要領
 テーマ 時間配分 ラベルの書き方 各役割について
- ・ 研修会後の河北町商工会女性部役員による報告書作成に向けたワークショップについて説明



講師資料より抜粋

望ましいバリアフリー社会とは

望ましい地域の諸施策・活動の方向性

課題と共生<地域・社会・施設・家庭>

<<施設・設備様式(ハード)>> <<運用・生活様式(ソフト)>>

広域連携事業第3ステージの位置づけ

■ グループ討議

6グループ(10名/グループ程度)でリーダーを中心に各テーマについて討議し、発言の内容を各自ラベルに記入。

最後に「やれること」「やりたいこと」「期待されること」に区分してラベルをボードに貼り付けました。

- グループでの討議 (30分)
- ラベル書き (15分)
- 休憩
- グループでの討議 (20分)
- ラベル書き (10分)
- テーマに沿ったラベル分類作業(15分)

参考資料としてテーブルに以下の資料を準備

- ・バリアフリー関連「キーワード」
- ・関連新聞記事
- ・バリアフリー支援制度案内 低融資・雇用支援
- ・平成16年度作成 福祉マップ
- ・平成17・18年度広域連携事業報告書



■ 発表

各グループ6名のリーダーが、話し合いの内容について主な意見などを発表しました。

- ・自分自身の心のバリアを外すことで、他の人に優しく
- ・地域の人とのつながり、思いやりの心でバリアフリー
- ・会話と笑いあえる仲間を大切に
- ・地域の人に接する女性部の笑顔がバリアフリー
- ・介護用品・助成制度の情報の活用
- ・健常者・障がい者を含む、すべてのひとにとって
- ・風通しの良い住みやすい地域社会がバリアフリーであるという理念を貫くために、女性部がそれぞれの地域で、さらに団結して活動してゆくことが理想



■ 講 評

地域に根ざす女性部の方々は、日ごろ身近に人と接することができる立場であることから、地域、自分自身の中で「人」が果たす役割を認識し、女性部活動に活かして欲しい

今後話題にして行き、「やれること」「期待されていること」のギャップを埋めて行く



ハードなどの不足を人の優しさで補い、連携しながら人を作っていく

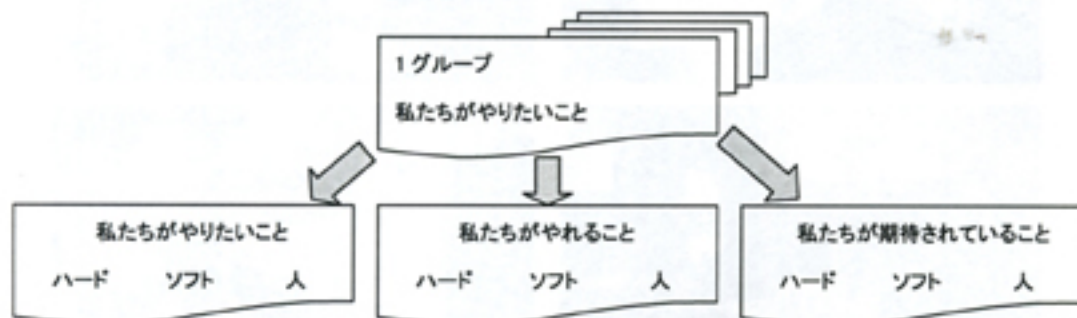


ハード・ソフトを動かす「人」ネットワークづくり

■ 研修会後のワークショップ

今後私たちの具体的な実践活動に引き継ぐべく、各意見を整理、重点課題を確認するために実施されました。

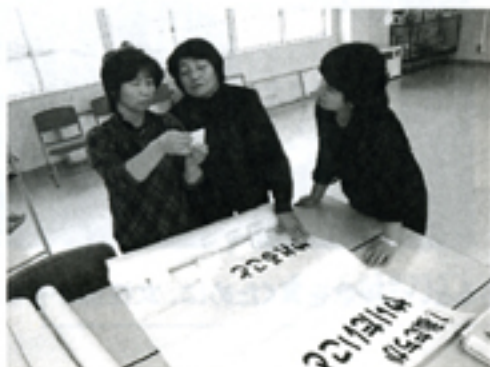
- ・ 日 時 平成 19 年 11 月 20 日(月) 13:00～16:00
- ・ 場 所 産業振興センター(河北町商工会)
- ・ 参加者 (有)SK ソリューションズ 黒沼貞志氏 /河北町商工会女性部役員
- ・ 作業内容 6グループのラベルを、重複した意見などをチェックしながらテーマ「やりたいこと」「やれること」「期待されること」に集約。その作業過程で、意見をさらに「ハード面」「ソフト面」「人づくり」へ区分換えを行った。



以上のデータを講師が目標展開図に作成(12月25日)同メンバーによる項目ごとの重み付け点数記入を行い集計(1月15日)し講師へ送付。

講師からの「実施報告書(別添)」を受けて、「バリアフリーを考えたまちづくり」実現への提言書が作成された。

<目標展開図・重み付け集計表書式は資料編参照>



グループ名簿

①グループ

No.	商工会名	役職名	氏名
1	上山市	部長	リーダー 松本 矩子
2	"	副部長	阿部 邦子
3	村山市	副部長	高橋 ワカ子
4	"	事務局	長登 しのぶ
5	山辺町	部長	大滝 朝枝
6	"	副部長	高橋 幸子
7	朝日町	理事	多田 しげ
8	"	事務局	阿部 久美子
9	河北町	理事	サポーター 細矢 誓子
10	"	"	鈴木 孝子

④グループ

No.	商工会名	役職名	氏名
1	中山町	副部長	岸 信子
2	"	事務局	鏡 智美
3	西川町	副部長	設楽 正子
4	"	"	奥山 美喜子
5	朝日町	部長	志藤 千代子
6	"	理事	吉田 カネヨ
7	大江町	部長	リーダー 若月 綾子
8	"	副部長	松田 さくら
9	河北町	副部長	サポーター 加藤 勝子
10	"	事務局	長谷川 敬子

②グループ

No.	商工会名	役職名	氏名
1	東根市	副部長	清野 信子
2	"	"	板垣 幸子
3	尾花沢市	部長	柴崎 玲子
4	"	事務局	太田 智恵美
5	大江町	副部長	吉野 貴代
6	"	事務局	森谷 直子
7	大石田町	部長	リーダー 森 千鶴子
8	"	副部長	戸田 享子
9	河北町	理事	サポーター 小林 幸子
10	"	"	和田 典子

⑤グループ

No.	商工会名	役職名	氏名
1	上山市	副部長	村山 和子
2	"	事務局	大滝 智子
3	寒河江市	部長	リーダー 粟野 敏子
4	"	副部長	佐藤 キヨ子
5	尾花沢市	副部長	小関 由紀子
6	"	理事	斉藤 綾子
7	山辺町	事務局	多田 弘子
8	県連合会	事務局	伊藤 愛
9	河北町	副部長	サポーター 楳 澄子
10	"	理事	増田 美重子

③グループ

No.	商工会名	役職名	氏名
1	寒河江市	理事	高橋 洋子
2	"	事務局	森谷 有里
3	村山市	部長	鈴木 和子
4	"	副部長	矢口 チエ子
5	西川町	部長	リーダー 菅野 正代
6	"	事務局	石山 秀子
7	河北町	理事	芦野 アキ
8	"	"	田宮 ヒデ子
9	"	"	サポーター 原田 シゲ子

⑥グループ

No.	商工会名	役職名	氏名
1	東根市	常任委員	青柳 年子
2	"	事務局	鈴木 三幸
3	中山町	副部長	渡辺 光子
4	"	監事	山科 英子
5	大石田町	会計	青藤 修子
6	"	部員	佐藤 美智子
7	"	事務局	志田 伸子
8	河北町	部長	リーダー 楳 幸子
9	"	監事	サポーター 小野 あさ子

当協議会では過去に「わがまちの福祉マップづくり」事業(平成14～16年度)を実施。各地域の福祉施設への取材の中で、入所・通所している方々の社会復帰や自立のための授産品や自主製品・作品を知る機会がありました。この度の研修会では、福祉作業所の成果品の展示・紹介を行ったところ、いずれも温もりある質の高いプロ顔負けの製作品に参加者一同感心させられました。しかしながら、販路拡大、販売PRなど課題も抱えています。今後女性部の活動の中で、活用しPRを行うことで、製作品を通じて私たちができる自立支援サポートの第一歩となるのではないのでしょうか。

製作品展示施設一覧

地区名	施設名	展示物
上山市	知的障害者授産通所施設 上山いずみの家	クッキー
	重度障害児・者 小規模通所施設 こ・こあハウス	牛乳パックで作った スツール
寒河江市	知的障害者授産施設 寒河江共労育成園	木工製品
	知的障害者更生施設 さくらんぼ共生園	素焼き、編み物ほか
尾花沢市	知的障害者更生施設 新生園 ぱん工房「かがやき」	菓子パン
	尾花沢市小規模作業所 はながさ	布製品、クッキーほか
大石田町	知的障害者更生施設 水明苑	焼き物、布製品
河北町	教護施設 みやま荘	クラフトバック、ビーズ・布製品 ほか 焼き菓子(本日の菓子) きらら洗剤(配布)
	NPO 法人 ひだまりの家かほく	布製品小物類ダンベルほか





村山地区商工会女性部連絡協議会

研修会参加者名簿

No.	商工会名	役職名	氏名	事業所名	業種	グループ
1	上山市	部長	松本 矩子	(有)上山ニチベイ	不動産賃貸業	1
2		副部長	阿部 邦子	(株)上山印刷	印刷業	1
3		"	村山 和子	(有)村山牛肉店	小売業	5
4		事務局	大滝 智子	上山市商工会		5
5	寒河江市	部長	栗野 敏子	栗野左官工業	左官業	5
6		副部長	佐藤 キヨ子	酒のマルモ	小売業	5
7		理事	高橋 洋子	ひろこてい	婦人服縫製・小売業	3
8		事務局	森谷 有里	寒河江市商工会		3
9	東根市	副部長	清野 信子	(有)クリーニングせいの	クリーニング業	2
10		"	板垣 幸子	(有)板垣電気工事	電気工事業	2
11		常任委員	青柳 年子	(株)やなぎや	生花小売業	6
12		事務局	鈴木 三幸	東根市商工会		6
13	村山市	部長	鈴木 和子	(有)キッチン菜の花	小売業	3
14		副部長	矢口 チエ子	矢口菓子店	小売業	3
15		"	高橋 ワカ子	高橋金物店	小売業	1
16		事務局	長登 しのぶ	村山市商工会		1
17	尾花沢市	部長	小関 由紀子	(株)銀山荘	旅館業	5
18		副部長	柴崎 玲子	(有)印刷文化堂	印刷業	2
19		理事	斉藤 綾子	(有)菅クリーニング商会	クリーニング業	5
20		事務局	太田 智恵美	尾花沢市商工会		2
21	山辺町	部長	大滝 朝枝	大滝印刷	印刷業	1
22		副部長	高橋 幸子	(株)ダイハン	スーパー	1
23		事務局	多田 弘子	山辺町商工会		5
24	中山町	副部長	渡辺 光子	丸正わたなべ	化粧品等小売	6
25		副部長	岸 信子	(有)岸商店電機部	家電製品小売業	4
26		監事	山科 英子	山科建材	建材販売業	6
27		事務局	鏡 智美	中山町商工会		4
28	西川町	部長	菅野 正代	(有)松野屋商店	小売業	3
29		副部長	設楽 正子	設楽建設興業(株)	建設業	4
30		"	奥山 美喜子	(有)オクヤマ電気工事	電気工事業	4
31		事務局	石山 秀子	西川町商工会		3

No.	商工会名	役職名	氏名	事業所名	業種	グループ
32	朝日町	部長	志藤千代子	志藤看板塗装店	看板塗装業	4
33		理事	吉田カネヨ	吉田タクシー	タクシー業	4
34		"	多田しげ	田丸屋呉服店	衣料品小売業	1
35		事務局	阿部久美子	朝日町商工会		1
36	大江町	部長	若月綾子	(株)若月印刷	印刷業	4
37		副部長	吉野貴代	吉野鮮魚店	小売業	2
38		"	松田さくら	そば処山せみ	飲食業	4
39		事務局	森谷直子	大江町商工会		2
40	大石田町	部長	森千鶴子	(有)一二三建設工業	建設業	2
41		副部長	戸田享子	昭和堂写真館	サービス業	2
42		会計	青藤修子	青藤建設	建設業	6
43		部員	佐藤美智子	佐藤木工所	建設業	6
44		事務局	志田伸子	大石田町商工会		6
45	河北町	部長	楨幸子	松の家	飲食業	6
46		副部長	加藤勝子	加藤理容所	理容業	4
47		"	楨澄子	丸豊機工機	製造業	5
48		理事	小林幸子	ゆき美容室	美容業	2
49		"	和田典子	(有)紀の代寿司本店	飲食業	2
50		"	細矢誓子	(有)細矢正之助商店	小売業	1
51		"	芦野アキ	(株)芦野組	建設業	3
52		"	鈴木孝子	(有)肉の松月	小売業	1
53		"	田宮ヒデ子	(株)山形機工	製造業	3
54		"	原田シグ子	(有)ニュートラベル山形	旅行業	3
55		"	増田美重子	増田鮮魚店	小売業	5
56		監事	小野あさ子	糸りえん	小売業	6
57		事務局	長谷川敬子	河北町商工会		4
58	県連合会商工会支援課主査		伊藤愛	山形県商工会連合会		5

「バリアフリーを考えたまちづくり」の実現に向けた提言

2008年2月

村山地区商工会女性部連絡協議会

「高齢社会」への急速な移行により、行動に制限を伴う高齢者・障がい者が増加している現在、すべてのひとにやさしいまちづくりを実現するため、私たちは、町を実際に自分の足で歩き自分の目で確かめ、車椅子の介助方法を学ぶなど、バリアフリーやユニバーサルデザインについての研修・体験を実施して参りました。この度、有限会社 SK ソリューションズ 代表取締役 黒沼 貞志 氏 をコーディネーターに迎え、「バリアフリーを考えたまちづくり」実現のため、私たちが やれること・やりたいこと・期待されていることをテーマに、すぐにでも始められそうな具体的な取り組みや今後必要な取り組みなどについてグループ討議を実施しました。

参加者から出された各意見は、黒沼氏のご協力により、目標展開図に整理後、幹事商工会女性部による重み付け評価を経て「実施報告書」およびその中の「目標展開検討報告」に重点課題として提示されております(それらの骨子の要約引用および詳細データを次ページ以降に示しました)。

これらの課題を基に「バリアフリーを考えたまちづくり」の実現に向けて、私たち女性部がまず身近なところから行動に移すための羅針盤(コンパス)として以下に提言として取りまとめました。

提言

《人づくりの実現のために》

- 高齢者、障がい者に対して思いやりの心を持って接することを目的に、女性部の資質向上にむけた介護や手話などの技術習得を含むコミュニケーション研修を実施する
- ふれあいを通じてバリアフリーの大切さを伝え子供たちの心を育む一助として、定期的に女性部と地域の子供たちとの交流の機会を設ける

《ソフト面の展開のために》

- 一部の女性部においては、「子供見守り隊」が結成され、各地で児童の登下校の安全と防犯に積極的な活動を続けているが、同時にお年寄りをも見守ることで地域への目くばり心くばりの役割を担い、女性部のネットワークを効果的に発揮してゆく
- 女性部活動の中で、地域の福祉施設の製作品の販売協力・PRする機会を定着させ、自立支援サポートのしくみづくりを展開する

《ハード面の充実のために》

- お年寄りが生き生きと過ごせる場所としての空き店舗の活用を行政へ働きかけるなど、私たちの身近なところから各店舗、商店街をもう一度見直してゆく

研修会では、ハード・ソフト面に加え、特に人づくりや人の果たす役割の重要性について指摘があり、一人として、女性部としてバリアフリー実現のため前向きに踏み出し、行動するためのヒントが別紙の目標展開図の中にも多く提示されています。私たちの大切なまちがすべてのひとにやさしく、そして風通しの良いバリアフリー社会の実現に向けて、地道ではあってもたゆみない商工会女性部の今後の活動の指針として、研修の成果を地域に活かしてゆきたいと考えております。

重み付けによる重点課題

…講師報告書から要約引用…

人づくり の実現には

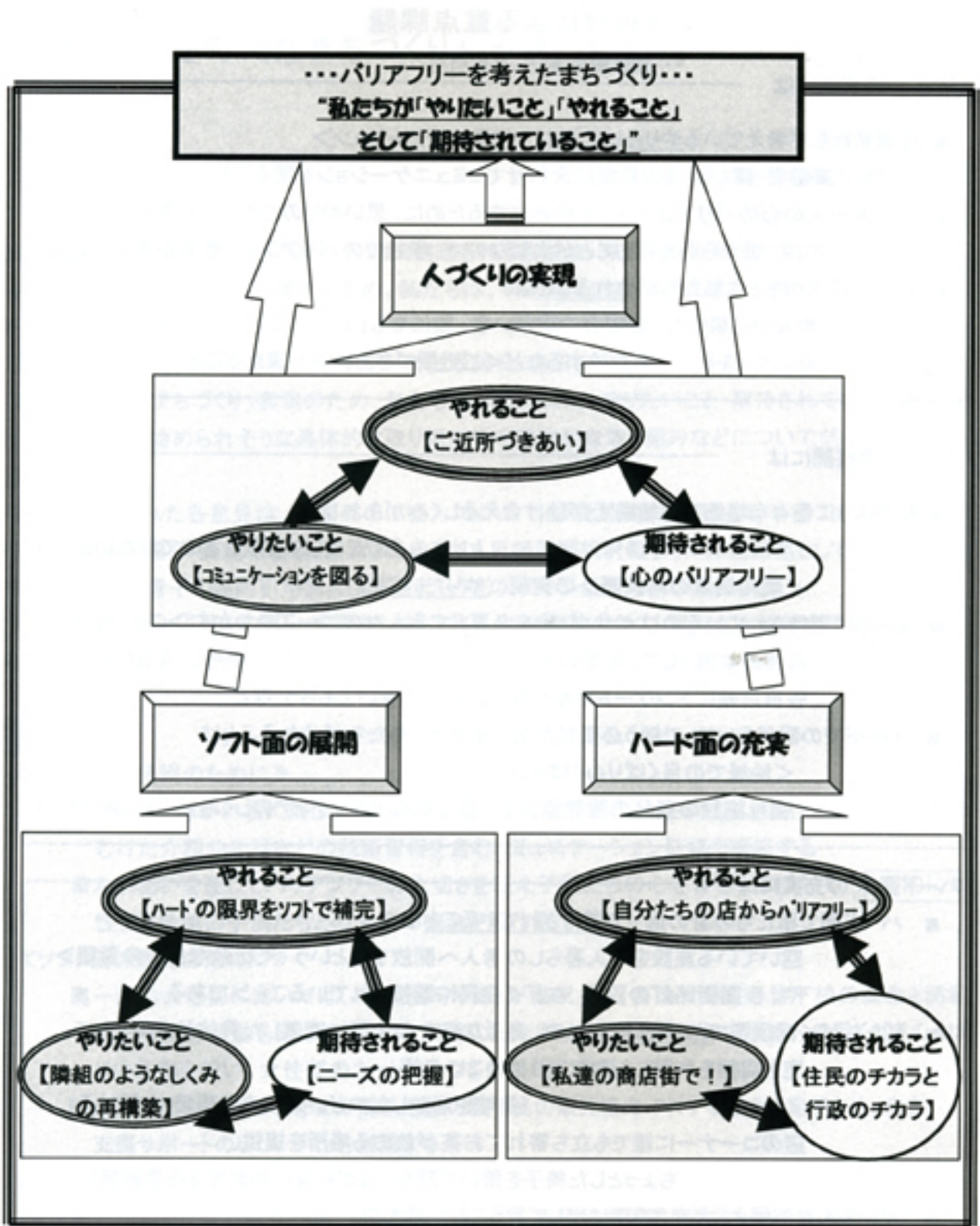
- 日頃私たちが考えているやりたいことは、<コミュニケーション>
高齢者・障がい者の目線に合わせてコミュニケーションを図ること
- <一人一人の心のバリアフリー>を可能にするために、思いやりの心をもって接すること
小さい頃から心を育むことが大切なので、学校でのバリアフリー教育が期待される
- 以上の認識のもとに私たちがやれることは、
老人や子供たち、健常者や障がい者、誰にでも
思いやりを持って声かけするなど<ご近所づきあい>を深めること

ソフト面 の展開には

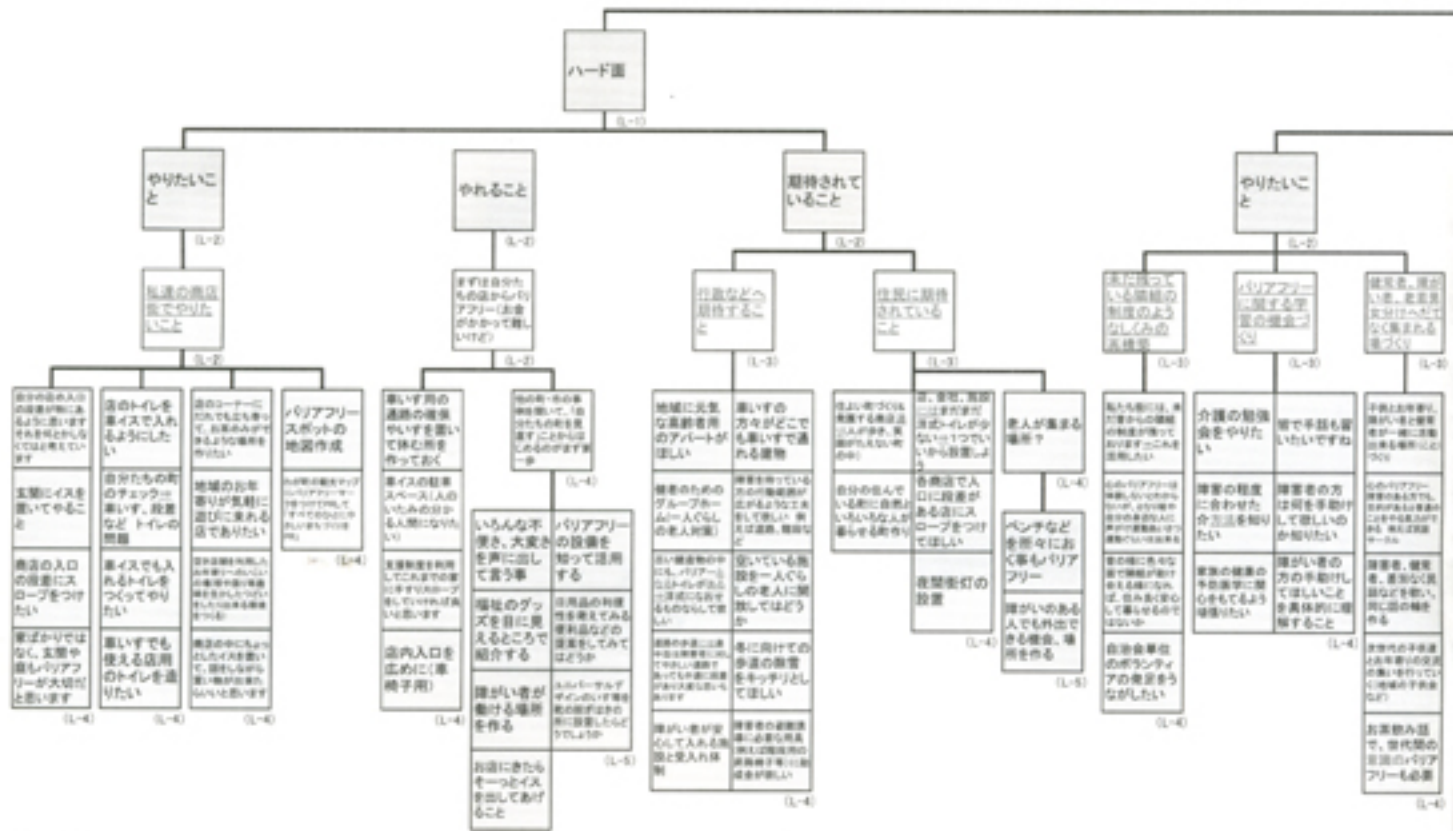
- 昔のように色々な場面で隣組同士が助け合えるしくみがあれば、
より住み易く安心して暮らせるのではないかと
<隣組制度の再構築>の実現 (やりたいこと)
- 私たちに期待されているのは<サポートを必要とする人々のニーズをつかむ>ことである
具体的な例として、地域の人たちに対して何のバリアフリーが今必要なのか
各自店頭アンケート用紙を置きお客様に書いてもらう など
- ハードでの限界をソフトで補う必要性がある現状で、私たちがやれることは
<地域での目くばり心くばり>
福祉施設の製品の販売協力や、自主的なボランティアのしくみづくりに繋げたい

ハード面 の充実には

- ハード面で私たちの身の回りで期待されていることは
空いている施設を一人暮らしの老人へ開放するという <行政などへの要望>
や、夜間街路灯の設置 など<住民に期待されていること>である
- 私たちが<商店街でやりたいこと>の、身近な日々の生活に密着した具体的な例として、
空き店舗を利用したお年寄りのいこいの場
(趣味を活かしたつどいが出来る環境)を設ける
店のコーナーに誰でも立ち寄れてお茶が飲める場所を提供、
ちょっとした椅子を置いて話をしながら買い物ができる雰囲気
- <いろんな不便さ、大変さを声に出して言うこと>が大切
ほかの町の事例を聞いて「自分たちの町を見直す」ことから始めよう
<まずは自分たちの店からバリアフリー>
支援制度を大いに利用して店や家にバリアフリーの設備(手すり・スロープ)
私たちの身近なやれることから実践をスタート



<目標展開図>

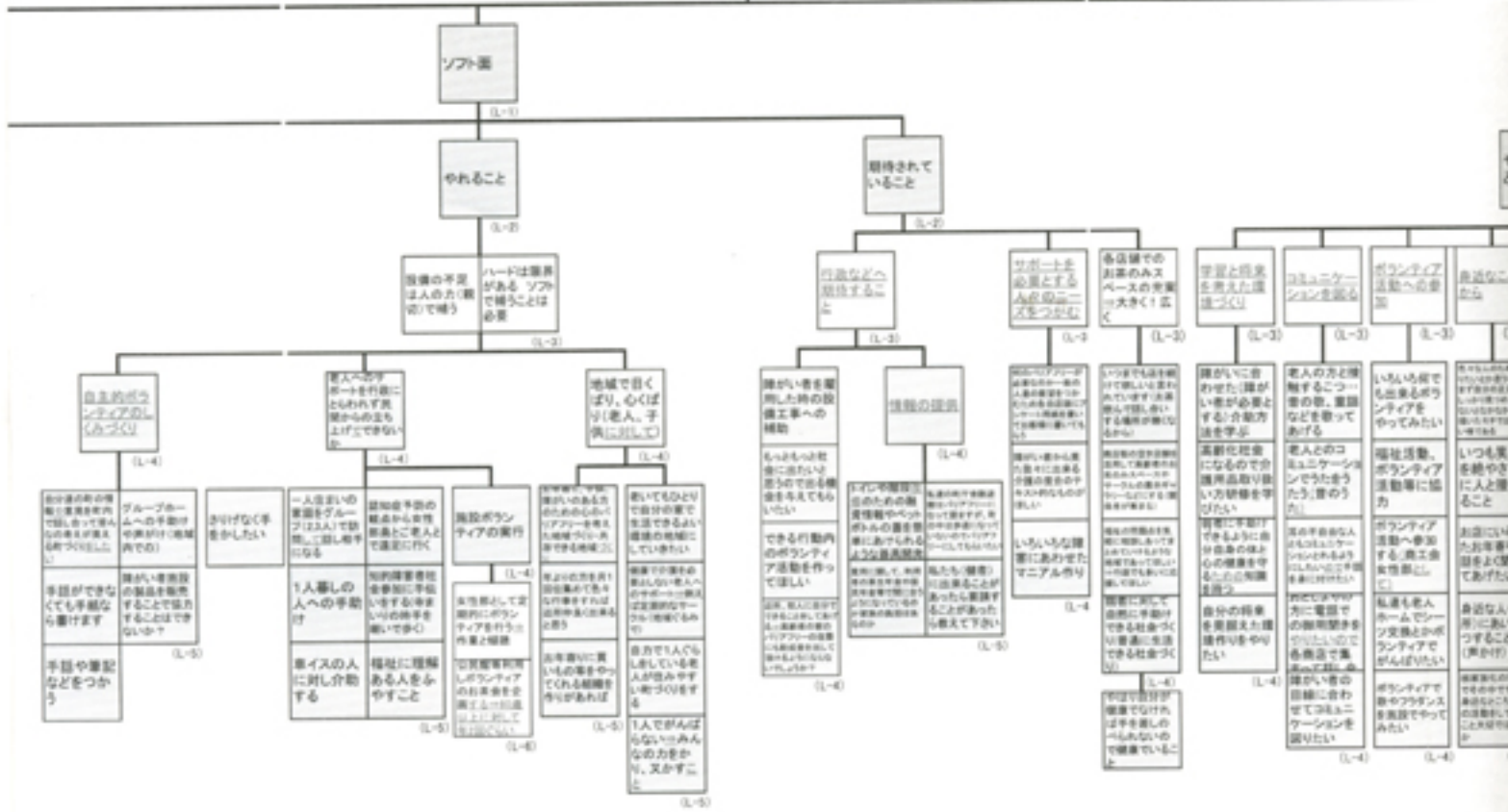


し-0	5
し-1	3
し-2	8
し-3	24
し-4	119
し-5	42
し-6	2
計	201

下記： 表札ラベル(入力作業過程で誤訂作成)
ラベル内的一部分下線は入力作業過程で誤訂修正

軌道の軌道下は一つも点や線がない活動が軌道も地域社会の
 軌道も多く、その下で走る風が健康者・障がい者共に
 へたてなく、後退もなく、ワザワザの社会であると思います

「バリアフリーを考えたまちづ
 くり」の推進のために



＜点数集計表サマリー＞

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
		単純平均	加重平均	加重平均	加重平均	
私達の地道ではあったらゆめのない活動が私たち地域社会の風通しを良くし、そのせよ産する風こそが健康者・障がい者共にへたてなく、住み良くするバリアフリーの社会であると思うのです						
L-1	人づくり	0.43333				
L-2	やれること	0.16852		0.08613	0.02680	
L-3	ご近所づきあい（コミュニケーション）					0.01370
L-4	誰でも参加（健康者でも高齢者でも身障者でも）					
L-5	私達の出来ることは老人、子供達に声かけをすること					
L-4	対人関係はおもいやりで！	0.14926		0.07900	0.02653	
L-2	期待されていること					
L-3	一人一人の心のバリアフリー					0.00433
L-4	おもいやり心をもって接すること					
L-5	小さい頃から心を育てることが大切なので学校（教育現場）でのバリアフリー（ワトド教育）が大事					
L-2	やりたいこと	0.11556		0.02825	0.00753	
L-3	コミュニケーションを図る					
L-4	障がい者の目線に合わせてコミュニケーションを図りたい					
L-1	ソフト権	0.37778				
L-2	やれること	0.16790		0.08582	0.04386	
L-3	ハートには限界がある（ソフトで補うことは必要）					0.01023
L-4	地域で目まはり、心まはり（老人、子供に対して）					
L-5	老いてむひとりでの自分の家で生活できるよい環境の地域にしていきたい					
L-4	自主的ボランティアの仕組みづくり	0.10914		0.04244	0.01792	
L-5	障がい者施設の商品を販売することで協力することはできないか？					0.00658
L-2	期待されていること					
L-3	サポートを必要とする人々のニーズをつかむ	0.10074		0.04142	0.01288	
L-4	何のバリアフリーが必要なのか一般の人達の要望をつかむため各自店頭にアンケート用紙を置いてお客様に書いて					
L-3	やりたいこと					
L-4	未だ残っている構組の制度のようなしみの再構築					
L-4	昔の様に色々な面で強組が助け合える様になれば、住み良く安心して暮らせるのではないか					
L-1	ハード権	0.18889				
L-2	やれること	0.10074		0.10074	0.03582	
L-3	まずは自分たちの店からバリアフリー（お金がかかって難いけれど）					0.00955
L-4	他の町・市の事例を調べて、「自分たちの町を真直す」ことからはじめるのがまず第一歩					
L-5	いろんな不便さ、大変さを声に出して言う事					
L-4	支援制度を利用してこれまでの家に手すり・ロープをしていければ良いと思います	0.04407		0.02644	0.00881	
L-2	期待されていること					
L-3	住民に期待されていること					
L-4	夜間街灯の設置					
L-3	行政などへ期待すること	0.01763		0.00451		
L-4	空いていいる施設を一人づつらの老人に開放してはどうか					
L-2	やりたいこと	0.04407		0.04407	0.00735	
L-3	私達の商店街でやりたいこと					0.00637
L-4	商店の中によつとしたイスを置いて、話をしながら買い物が出来たらいいと思います					
L-4	空き店舗を利用したお年寄りへののいこいの場（朝や昼や夜毎種味を生かしたつどいをしたり出来る環境をつくる）					
L-4	店のコーナーにだれでも立ち寄って、お茶のみができるような場所を作りたい					0.00588

参加者の意見感想

○ 研修会について

- ・ いろんな意見が出てとてもためになりました。
- ・ 今、健常でも明日に障がい者になるかもしれない状況なので、常に身近な問題だと感じました。
- ・ 今まであまり考えてもみなかったことを改めて思い直しました。大勢の方々の意見を聞くことが出来て勉強になりました。
- ・ みやま荘の施設長さんのお話は、障がい者の立場からだけでなく、健常者の立場も考えた内容だったため、大変聞きやすくわかりやすかった。施設長さんの強い思いも伝わってきました。
- ・ グループ討議は雰囲気もよく話しやすかった。
- ・ 最初は難しいテーマだなあと思いましたが、みんな話を聞いているうちにだんだんと話の輪が広がって、たくさん話題を聞くことが出来ました。
- ・ バリアフリーのまとめの年度という事で、みなさんのこれまでの体験から意見を聞くことが出来て大変良かった。
- ・ バリアフリーの内容が、ハード、ソフト、人とわかりやすく理解できました。大築満夫先生のお話大変良かった。ブレインストーミング、グループ討議など勉強になりました。
- ・ テーマが大きくて難しかった。
- ・ 大築先生のお話は人事ではなく、これからますます考えなければいけないことでした。
- ・ 私は、バリアフリーの研修会は初めて参加いたしました。とてもこれからの人生、参考になりました。
- ・ グループごとに別れての討議はよかったと思います。色々な意見が聞かれました。
- ・ 自分が出来ることは限られているし、一人では何をやる勇気もないけれど、女性部みんなの力を合わせれば、何か一つ出来るのではないかと思います。
- ・ とても勉強になりました。17年はハード、18年はソフト、今回は人であること。やはりまとめてみると、人のやさしさ、思いやりが大事だと思います

- ・ 人づくりの大切さを痛感しました。やさしい心をもつこと、そして笑顔をつくる事を心がけたいと思います。
- ・ バリアフリー 奥の深いテーマでした。人の心が問題でありますか 自分の心のバリアフリーでありました。やさしい心で対人に接したいと思います。
- ・ パート3ともなれば実践、現実的な意見が出て大変有意義な研修会だったと思います。
- ・ 女性部として KS 法は初めてでしたが、いろんな意見が出て素晴らしいでした。みやま荘の活動も地域に根ざしたものとなっていて、いい施設だと思いました。思いやりの気持を持つことの大切さを感じました。
- ・ 日頃、なにげなく考えている事が、しっかりみんなで話し合いをした事でよりしっかり考えることができました。とてもよかったです。

○ 「バリアフリー」について学習したが、福祉について現在どのようなことに関心があるか

- ・ 自分の心が、まだまだバリアフリーでないことを感じました。
- ・ 目の前にせまっている老いが誰でもがさけて通れない障がいだと思います。改めて自分の今できることを考えた一時でした。
- ・ ハードよりもソフト。ソフト面(自分自身)を磨く事(商売にもつながるのでは?)
- ・ 皆が住みやすい町づくりが前提になりますので、意識改革が必要。
- ・ 難しい事よりも、自分が出来る事から少しずつ グループホームの人々の交流などを通してやってみたい。
- ・ 今まで気づかなかった事、階段、トイレ、気にかかるようになりました。
- ・ バリアフリー、行政と町と人の心のバリアフリーが一つになっていくように！！
- ・ 老人が、人間らしく、自分らしく生きていける社会福祉が出来ればいいなと思う。
- ・ お年寄りと子供との交流の場をもっと設けると良いのではないかと思う。(学校や地域で) 奉仕活動を身近なところから！

○ 施設で作られた製品、作品について

- ・ 温もりを感じる。
- ・ 作る物が限られている様です。自分達しか出来ないという製品を考えるといいと思います。
- ・ 一生懸命作った作品。とてもいいです。
- ・ 材料を吟味して、大変安心して食べたり、使用したりできそうです。
- ・ ほんとすばらしいなあ。心が非常にこもっています。これからも頑張ってください。
- ・ 製品紹介、とってもよいと思う。
- ・ お菓子はとても美味しく今後、買い求めてみたい。
- ・ 皆さん、手先も器用ですばらしいと思います。
- ・ 楽しく作ったのでしょうか。大変良いと思う。
- ・ 施設の作品もとてもすばらしいので、いろいろな場所で販売等 PR が必要だと思いました。
- ・ 施設訪問をして、実際の仕事のところを見たいと思う。大変良く出来てほしくなります。
- ・ 非常に立派な製品ばかりで驚き感心します。これらを作った方々の顔がなかなか見えません。積極的な社会参加を望みます。
- ・ 指導している方の努力が表れていると思います。しかし、どの施設も同じ様な感じで個性がもっとあったらよいのでは？
- ・ なかなか素敵ですばらしい製品、作品だと思いました。それぞれの施設で、ご指導にあられる先生方に敬意を表します。

○ 研修会場 どんがホールについて

- ・ 一つの施設の中に図書館、保育施設、又すばらしい会議用の施設等近代的な建物です。又町の中心的な場所に占めているのが良いですね。
- ・ 出来れば、スリッパは足のスベリが悪いものが良いかと思う。又は裸足が良いかも。
- ・ 声が反響して会議には向かない。
- ・ 人づくりの場として大変良い。
- ・ 木材を使用しているのも、心和む思いで、やさしいゆったりとした気分で一日過ごす事ができました。
- ・ なかなか、木のぬくもりのある あたたかい施設と思いました。
- ・ 先ず、バリアフリーの建物であったこと、明るく木の香も新しい素晴らしいホールであると思いました。音響効果も良くお手洗も紅花のスリッパと共に、広く明るく清潔で快く思いました。
- ・ 平屋で、木がふんだんに使われていて、いい施設だと思います。外の軒先でのイベントができるようになっている所が、とてもいいと思います。(雨が降っても安心で)
- ・ 街の中心部に憩いの場として、又生活の面においても大変重要な役割をしている素晴らしい施設だと感じました。
- ・ 立派な施設で、当町に持って帰りたいくらいです。



手助けと心の支援

村山地区商工会女性部
商工会女性部 バリアフリー学ぶ

村山地区商工会女性部
連絡協議会(松本矩子会
長)の研修会が七日、河
北町のどんがホールで開
かれ、「バリアフリーを
考えたまちづくり」をテ
ーマに講演や討議を行っ
た。

十二市町の商工会女

性部から約六十人が参
加。河北町にある救護

施設「みやま荘」の大
築満夫荘長が「みやま
荘の取り組み、みんな
一緒」と題して講演し
た。

大築荘長は、みやま荘
が近くの小学校と続け
ている交流の様子など
を紹介し、「交流を通し
て施設が地域にとって
当たり前存在になっ

た」と説明。「障害者と
は、どこかに問題を抱
えていて生活がしづら
い人。ちよっとした手
助け、目に見えない心の
支援が必要だ」などと述
べた。

講演後は参加者がグル
ープ討議を行い、バリア
フリーへの理解を深め
た。